

コード	401030402
記入日:	H22.10.1

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	原 達雄

事務事業事前評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	水産物供給基盤機能保全事業(小串漁港)	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3		
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4		
事務事業コード	4010304	事務事業名称	国庫補助事業費(水産物供給基盤機能保全)	細目コード	13		
関連計画	・事業基本計画 ・機能保全計画		法令・条例規則等				

計画(PLAN)					
対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標			
(対象1)	漁港(1漁港1地区)	(対象指標1)	外郭14・係船14・輸送4		
(対象2)		(対象指標2)			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標			
漁港施設の機能調査を行い管理体系に据えた保全計画書の作成を行う。		(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
		① 外郭施設	14施設	防波堤・外護岸	平成23年度
		② 係留施設	14施設	物・岸壁・係船護岸・船揚場等	平成23年度
		③ 道路施設	3路線	道路・橋梁	平成23年度
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標			
水産物の安定供給、漁業活動の安全性、円滑性を図るため漁港施設の計画的管理を行う。		(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
		① 外郭施設	14施設	係留施設	
		② 道路施設	3路線		
		③			

実施(DO)										
	単位	全体計画		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降
		H 23 ~ H 24								
活動指標	漁港	1			1					
成果指標	漁港	1			1					
総事業費C (A+B)	千円	5,500			5,500					
直接事業費 A	千円	4,100			4,100					
人件費 B	千円	1,400			1,400					
内訳	従事職員数	人	0.2		0.2					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	2,675		2,675					
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	1,425		1,425					
	一般財源	千円	1,400		1,400					

コード 401030402

評価(CHECK)

評価項目		内 容
1次評価	事業の緊急性・必要性	水産物の安定供給を図るため整備された漁港施設は、近年老朽化が進み、更新を必要とするものが増加している。このため、管理体系に据えた計画的取り組みを行う必要があり計画書の策定が急務となっている。
	類似事業との関連	他に事業がない。
	費用対効果	施設の計画的更新により施設の長寿命化を図り地域漁業活動の安全性、効率性を図る。

2次評価	小串漁港の環境整備のこれからの指針となる計画作成である。
------	------------------------------

住民等の意見	
町の対応	

事業採択結果	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				事業費を増額して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。